２０１７．１１.２０　保護者会資料

進路指導部より　入試改革の波を乗り越えていくために～

すでにご存知の方も多いと思いますが、大学入試において、今までにない大きな変化が将来起ころうとしています。テレビやニュース等で耳にしてはいても、「具体的にどう変わるのか、よくわかない」という方も多いのではないでしょうか。

この変化の波に対応するためには、事前の準備が必要です。現在までの発表内容について簡単にまとめてみました。

現高１・２年生の大学受験にも、入試改革の影響はあります。今何が変わろうとしているのかを、ぜひご確認ください。

## ◆大学入学共通テストについて

**Q．テストはいつから変わるのですか？**

**A．現中学３年生が受ける２０２１年度入試から変わります。**

～２０２０年度　大学入試センター試験

２０２１年度　大学入学共通テスト

現行の大学入試センター試験に代わり、２０２１年度入試から「大学入学共通テスト」が実施されます。まだまだ先のことのように感じるかもしれませんが、これまでとは違い、習得した「知識」の確認だけでなく、今後は総合的な「思考力・判断力・表現力」を問う試験となります。

**Q．具体的にどう変わるの？**

**A．国語、数学□、数学□Aで記述式問題が導入されます。**

２０２１年度入試からの記述式国語

・８０字～１２０字程度を３問程度出題
・記述式試験問題の出題範囲は古文・漢文を除く「国語総合」
・マークシート式問題とは大問を分けて出題
・マークシート式と合わせて 100 分を想定

多様な文章や図表などをもとに、複数の情報を統合し、構造化して考えをまとめたり、その過程や結果について、相手が正確に理解できるよう根拠に基づいて論述したりする思考力・判断力・表現力を評価する。
設問において一定の条件を設定し、それを踏まえ

２０２１年度入試からの記述式数学

・記述式試験問題の出題科目は「数学□」「数学□A」
・「数学□」の内容から３問程度
・マークシート式問題と混在して出題
・マークシート式と合わせて 70 分を想定

図表やグラフ・文章などを用いて考えたことを数式で表したり、問題解決の方略などを正しく書き表したりする力などを評価する。
「数学を活用した問題解決に向けて構想・見通しを立てること」に関わる能力の評価を重視する

現行のセンター試験は全てマークシート方式で実施されていますが、「共通テスト」では一部で記述式問題が導入されます。２０２１年度入試からは国語と数学で導入され、試験時間の見直しも行われます。２０２５年度入試以降からは、地理歴史・公民、理科分野に広げることが検討されています。

**Q．英語はどのように変わるのですか？**

**A．英語は、共通テストの試験だけでなく、民間の資格・検定試験を利用する形式も導入されます。**

| | 読む | 聞く | 話す | 書く |
|---|---|---|---|---|
| ～2020 年度入試 | ● | ● | | |
| 2021 年度入試 | ● | ● | ● | ● |

「話す力」と「書く力」も大切に！

４～１２月に受験　　１月

大学では［４技能 資格試験（認定）］と［Reading Listening マーク式（センタ］のいずれか、または両方を選択し活用

大学入試センターが入学者選抜において必要な水準を満たしていると認定した、民間事業者による資格・検定試験を活用することになり、「読む」「聞く」「話す」「書く」の４技能を評価する方針になります。民間の試験は、高校３年生の４～１２月に受験する２回が対象になる予定です。また、従来のセンター試験の後継である共通テストも引き続き行われますが（2023 年度まで）、資格・検定試験と共通テストのいずれか、または両方を大学が指定することになり、その判断は各大学に委ねられます。入試改革に関係なく、今後社会で要求される力として、話す力と書く力を含めた４技能の総合力をつけていくかが重要になります。

*次年度の高１模擬試験より*
*・記述問題の採点基準が細分化*
*・成績票の表記内容がより詳細*

**Q．マーク式の問題はどうなりますか？**

**A．マーク式の問題も傾向が変わります。**

今後、より思考力・判断力・表現力を重視した作問となるため、出題形式の変化を踏まえた対策が必要になります。例えば、従来は答えを１つ選ぶ出題形式でしたが、答えがいくつであるかを示さずに複数選択させる問題が出題されることもあり得るようになります。

## ◆多面的・総合的な評価

**Q．具体的にどのように変化するのですか？**

**A□．国立大学の推薦・ＡＯ枠が拡大していきます。**

・推薦入試、ＡＯ入試、国際バカロレア入試などの定員枠が、入学定員の 30%を目標として拡大していく方向です。

## A□．難関大学を中心に、推薦・ＡＯ枠が拡大しています。

| 入試年度 | 大学・入試方式名 |
|---|---|
| 2016 年度入試～ | 東京大・推薦入試<br>京都大・特色入試<br>関西学院大・ＳＧＨ対象公募入試<br>ＳＳＨ対象公募入試 |
| 2017 年度入試～ | お茶の水女子大・ＡＯ（新フンボルト）入試<br>大阪大・世界適塾入試 |
| 2018 年度入試～ | 一橋大・推薦入試拡大<br>早稲田大・地域貢献型人材発掘入試<br>京都大・特色入試　全学部で実施 |
| 2019 年度入試～ | 神戸大・「志」特別入試 |

## A□．志望理由書や面接を通して表現力が問われます。

・志望理由と将来像などについて、簡潔に伝える力
・他大学も検討した上での志望理由を、明確に伝える力
・建学の精神、アドミッションポリシーについて、自分なりの見解・解釈を伝える力
・入試科目が課されている理由・背景を説明する力
・ある条件下で、志望する職業に就いた際にすべきことを論述する力

**入試科目が課されている背景、進学、卒業後のビジョンが問われることも**
**⇒　志望理由を深め、表現できる力がベースとなる**

## A□．調査書・推薦書などの提出書類が見直されます

★調査書　一般入試（新名称：一般選抜）でも活用
「指導上参考となる諸活動」の欄が見直されます

○各教科・科目および総合的な学習の時間の学習における特徴等
○行動の特徴、特技等
○部活動、ボランティア活動、留学、海外経験等
　＊具体的な取り組みの記載が求められています
○取得資格・検定
　＊資格や検定の内容、取得スコア、時期などの記載が求められています
○表彰・顕彰等の記録
　＊各種大会やコンクールなどの内容や時期等の記載が求められています
○その他

**注目ポイント**

★推薦書　推薦入試（新名称：学校推薦型選抜）学力の３要素の評価が求められます
○「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」に関する評価についての記載が求められます

★志願者本人の記載する資料　ＡＯ入試（新名称：総合型選抜）で求められます

○活動報告書

＊「総合的な学習の時間」等において取り組んだ課題研究等や学校の内外で意欲的に取り組んだ活動についての記載が求められます
部活動、ボランティア活動、生徒会活動、資格・検定、各種大会・コンクール
留学・海外経験等

○大学入学希望理由書や学修計画書

＊学部等の教育内容を踏まえ、入学希望理由や学びたい内容と計画、卒業後を見据えた目標等の記載が求められます

## ◆低学年から準備をしていく必要性

**〈学力面〉**

・各教科の基礎学力（多面的な思考ができるよう、バランスよく学力を身に付ける力）
・安定した生活時間、学習時間（２時間が目標）　※3 点固定（起床・学習・就寝）
・ＰＤＣＡ（Plan→Do→Check→Action）サイクルを活用して学習する力
・資格や検定などへの積極的な挑戦

**ついつい、テストの得点や順位ばかりに目が向いてしまうものですが、「私の記録」（中学生）や「今⇔未来手帳」（高校生）などの記載内容などと合わせて、お子様の学習の状況について、ご家庭でお話しください。**

**長時間勉強していても教科の偏りがあったり、テストの成績が良くても継続性の無い学習では、高校進学後、学年を追うごとに苦戦を強いられる可能性が高くなります**

**〈活動面〉**

・学校行事、部活動などを通して学び得たことや考えたことを表現する力
・各種コンクール、ボランティア活動、芸術鑑賞など、さまざまな経験の積み重ね
・将来を見据えた進路意識

**調査書に記載できる内容を、低学年（中学生の頃から）から積み上げていく必要があります。机上の学習以外の場でも学びの場はたくさんあります。ぜひ、お子様の挑戦する背中を押してあげてください。そして経験して抱いた思いや考えを会話の中で引きだし、お子様と一緒に考えを深めてあげてください。**

【現在のキャリア教育・進路指導状況の報告】

１年：自分とは？（さまざまな角度から自分を理解し、次年度の職場体験への準備へ繋げます）
２年：職場体験のまとめ終了（学び得たことを書き、発表しました。次は学問研究です）
３年：企業インターンワーク開始（企業からの難しい指令に応えようとアイデアを出し合っています）
４年：志望理由書作成（志望理由をまとめるにはどれだけ調べ考える必要があるのか体感的に学び中）
５年：入試形態を調べて利用検討＆受験生切り替え（推薦やＡＯ利用対象者への説明会実施）